



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

# しらこぼと

## 2020.5

No. 434

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



# 2020年冬 カモ科カウント調査結果

日本野鳥の会埼玉 調査部

今回の調査は2020年1月5日～1月19日の間(予定は1月11日から1月19日)に、県内69ヶ所で行われました。この調査で18種、総個体数9419羽(昨年から1.8%減少)が記録されました。2年連続で、1万羽台を割りました(17年9600羽→18年11072羽→19年9586羽→20年9419羽)。18年を除き減少傾向が続いています。

個体数が1000羽を超えたのはヒドリガモ(1498羽)、マガモ(1169羽)、カルガモ(2248羽)、コガモ(2255羽)の4種でした(目録順)。これらを昨年と比べるとヒドリガモはほぼ変わらず、マガモは38%減、カルガモは24%増と大きく増え、コガモは3.4%増でした。次に多いのがキンクロハジロの642羽で、ホシハジロの578羽、オナガガモの486羽、続いて100羽台のハシビロガモ(131羽)、コハクチョウ(109羽)の2種でした。

オシドリは昨年の1羽(古利根川)から55羽へ増加しました(一昨年は88羽)。一方、昨年は48羽だったスズガモが今年は彩湖のみの10羽と大きく減少しました(一昨年は1羽)。また、1羽だけですが、ウミアイサが伊佐沼で記録されました。

13年にソーラー発電パネルが設置された後谷調整池(桶川市)では54羽で、18年734羽→19年470羽と減少傾向が続いています。17年にパネルが設置され昨年231羽(一昨年163羽)が記録された芳沼(深谷市)でも15羽

と大きく減少してしまいました。水面に設置されたソーラー発電パネルのカモ類への影響は、猛禽類から隠られるというプラスの影響だけではないかも知れません。

カワウは38ヶ所で309羽が記録されました(昨年は30ヶ所416羽 26%減)。最も多いのは伊佐沼(45羽)で、これに次ぐのが後谷調整池(39羽)でした。カワウの彩湖への集中(18年191羽→19年861羽→20年18羽)は、みられませんでした。

今回の調査は48名の方にご協力いただきました。厳しい寒さの中での調査、お疲れ様でした。心より御礼申し上げます。今後とも、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

(調査部 三好正幸)

<調査協力者>(敬称略、五十音順)

相原修一、相原友江、浅見健一、浅見徹、新井巖、石井智、石川敏男、石塚敬二郎、伊藤芳晴、今村富士子、植平徹、海老原教子、大井智弘、大塚純子、大畑祐二、小貫正徳、河辺典子、工藤洋三、倉崎哲郎、小荷田行男、小林茂、小林ますみ、小林みどり、小林洋一、駒崎政雄、佐久間博文、佐々木真澄、佐藤宏、鈴木秀治、手塚正義、長嶋宏之、長野誠治、長野真由美、中間清美、中村治、中村豊己、野口修、長谷部謙二、畠山孝、菱沼一充、藤澤洋子、藤原寛治、三好正幸、茂木幸蔵、森本國夫、山部直喜、吉原早苗、吉原俊雄

総計 & 増減比	コ ハ ク チ ョ ウ	オ オ ハ ク チ ョ ウ	オ シ ド リ	オ カ ヨ シ ガ モ	ヨ シ ガ モ	ヒ ド リ ガ モ	ア メ リ カ ヒ ド リ	マ ガ モ	カ ル ガ モ	ハ シ ビ ロ ガ モ	オ ナ ガ ガ モ	ト モ エ ガ モ	コ ガ モ	ホ シ ハ ジ ロ	キ ン ク ロ ハ ジ ロ	ス ズ ガ モ	ホ オ シ ロ ガ モ	ミ コ ア イ サ	カ ワ ア イ サ	ウ ミ ア イ サ	カ モ 不 明 種	カ モ 交 雑 種	カ モ 科 個 体 数	カ モ 科 種 類 数	カ ワ ウ
2020年 種別総計	109	0	55	89	35	1498	1	1169	2248	131	486	4	2255	578	642	10	28	28	0	1	47	5	9419	18	309
2019年 種別総計	147	6	1	122	79	1485	0	1896	1812	91	234	2	2180	657	751	48	47	22	3	0	3	-	9586	18	416
増減比 (2020/2019)	0.74	0	55	0.73	0.44	1.01	-	0.62	1.24	1.44	2.08	2	1.03	0.88	0.85	0.21	0.60	1.27	0	-	15.7	-	0.98	1	0.74

NO	調査地(河川・湖沼等)	コハクテヨウ	オオハクテヨウ	オンドリ	オカヨシガモ	ヨシガモ	ヒドリガモ	アメリカヒドリ	マガモ	カルガモ	ハシビロガモ	オナガガモ	トモエガモ	コガモ	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	ホオジロガモ	ミコアイサ	カワアイサ	ウミアイサ	カモ不明種	カモ交雑種	カモ科個体数	カモ科種数	前年度個体数	前年度種数	前年度増減	カワウ	給餌の有無		
1	入間川 豊水橋～新富士見橋	0	0	0	1	0	0	0	21	17	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	3	71	4	59	4	120	3	無		
2	越辺川 八幡団地前	77	0	0	0	0	0	0	2	51	0	132	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	279	5	315	8	0	89	14	無	
3	青柳排水機場～びん沼川	0	0	0	0	0	30	0	5	37	35	0	0	55	0	3	0	0	0	0	0	0	0	165	6	213	7	0	77	8	無	
4	荒川鉄橋～戸田橋	0	0	0	0	0	0	0	1	13	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	15	3	53	5	0	28	0	無	
5	彩湖	0	0	0	0	3	0	0	16	5	0	0	0	9	425	346	10	0	0	0	0	0	0	818	8	1130	13	0	72	18	無	
6	明戸堰上流	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	27	0	0	0	0	0	32	3	47	5	0	68	1	無	
7	榑松橋付近	32	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	46	2	120	5	0	38	1	有
8	玉淀河原	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	35	1	8	3	4	38	5	無
9	川の博物館付近	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	15	0	1	0	0	0	0	0	0	19	4	-	-	-	3	無	
10	玉淀ダム	0	0	54	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	68	3	126	6	0	54	7	無	
11	鴨川排水機場	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	2	98	3	0	18	0	無	
12	浅間橋～堀の内橋	0	0	0	0	0	0	0	50	48	2	0	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	134	4	120	3	1	12	2	無	
13	今宮橋～八幡橋～清排水	0	0	0	0	0	7	0	0	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	2	98	3	0	56	0	無	
14	東北本線鉄橋～県道3号線	0	0	0	0	0	14	0	0	49	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	89	3	9	1	989	16	無		
15	城北大橋～水管橋	0	0	0	0	0	25	0	2	132	0	0	0	109	0	0	0	0	0	0	0	0	0	268	4	236	3	1	14	1	無	
16	禾田堰	0	0	0	0	0	105	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	114	2	133	2	0	86	0	無	
17	寿橋～堂面橋	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	2	59	2	0	34	0	無	
18	古利根川 古利根公園橋～藤塚橋	0	0	0	0	0	171	1	21	101	0	0	0	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0	370	5	358	4	1	03	1	有	
19	古利根公園橋～春日部大橋	0	0	0	0	0	37	0	0	17	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	3	60	4	0	93	2	有	
20	利根川 坂東大橋下流	0	0	0	23	0	0	0	10	0	8	0	285	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	335	5	118	3	2	84	0	無	
21	新河原川 川崎橋～田島橋	0	0	0	3	0	138	0	2	5	0	0	0	22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	171	6	399	6	0	43	4	無	
22	川崎橋～第二新河原橋	0	0	0	0	0	22	0	12	19	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67	4	39	2	1	72	0	無	
23	柳瀬川 富士見橋～栄橋	0	0	0	0	0	156	0	5	3	7	0	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	256	5	191	5	1	34	0	無	
24	石橋～松山橋	0	0	0	0	0	7	0	0	9	0	0	0	21	0	2	0	0	0	0	0	0	0	39	4	108	5	0	36	0	無	
25	松山橋～大道橋	0	0	0	2	61	0	0	29	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	120	5	100	5	1	20	0	無	
26	合併記念見沼公園の池	0	0	0	1	0	0	3	0	3	0	0	15	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	34	5	42	4	0	81	1	有	
27	大道橋～新宿橋	0	0	0	23	0	0	0	3	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	3	55	4	0	96	0	無	
28	新宿橋～八丁堤	0	0	0	0	0	0	12	52	0	0	0	39	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	114	4	85	3	1	34	2	無	
29	芝川 芝川第一調節池	0	0	0	7	0	0	12	35	4	0	0	8	10	18	0	0	12	0	0	0	1	107	8	162	7	0	66	0	無		
30	八丁堤～青木橋水門	0	0	0	0	0	13	0	2	13	0	4	33	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	70	7	89	6	0	79	0	無	
31	青木橋水門～芝川水門	0	0	0	0	0	155	0	3	0	0	0	0	68	52	0	0	0	0	0	0	0	0	278	4	211	4	1	32	0	無	
32	加田屋川 七東総合公園～県道214号線	0	0	0	0	0	0	3	33	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	3	72	5	0	85	2	無	
33	七里総合公園～練切橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	無
34	見沼代用水・東線 練切橋～国昌寺橋	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	2	9	1	1	00	0	無	
35	国昌寺橋～国道463号線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	1	39	2	1	08	0	無	
36	国道463号線～山口橋	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	-	0	0	無	
37	見沼代用水・西線 県道214号線～山中橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	0	00	0	無
38	山中橋～馬場橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	無	
39	馬場橋～附島橋	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	1	17	1	0	71	0	無	
40	練馬川 武蔵野緑鉄橋～新米田地	0	0	0	0	0	12	0	7	27	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	74	4	228	6	0	32	0	無	
41	伏起～大橋	0	0	0	0	0	0	0	47	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	2	64	2	0	84	0	無	
42	秋ヶ瀬公園・池	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	3	0	0	-	0	0	無	
43	狭山湖	0	0	0	2	0	0	0	27	39	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	79	4	83	6	1	25	2	無	
44	川越水上公園・池	0	0	0	0	65	0	3	67	0	0	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	140	5	126	6	1	11	0	無	
45	小野水鳥の郷公園・御伊勢塚公園	0	0	0	0	21	0	7	77	0	0	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	159	4	71	4	2	24	9	無	
46	伊佐沼	0	0	0	2	0	35	0	0	111	9	0	0	120	0	1	0	0	0	0	0	0	1	279	6	271	5	1	03	45	無	
47	武蔵丘陵森林公園・山田大沼	0	0	0	0	3	0	60	16	2	0	3	207	26	2	0	0	0	0	0	0	0	0	319	8	283	8	1	13	23	無	
48	大沼＝百六湖(吉見町)	0	0	0	0	0	0	13	16	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	4	33	4	1	06	2	無	
49	天神沼(吉見町)	0	0	0	0	0	0	58	22	20	0	0	45	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	147	5	57	4	2	58	4	無	
50	八丁湖(吉見町)	0	0	1	0	0	0	189	33	2	0	0	0	15	4	0	0	2	0	0	0	0	0	246	7	243	5	1	01	1	無	
51	大沼公園・大沼(熊谷市)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	2	0	00	0	無
52	県立農林公園・芳沼	0	0	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	15	3	213	5	0	07	5	無	
53	久喜菖蒲公園・昭和沼	0	0	0	7	6	24	0	147	172	0	15	0	155	0	7	0	0	1	0	0	0	0	534	9	692	9	0	77	11	無	
54	行田浄水場	0	0	0	0	110	0	198	165	3	223	0	181	0	66	0	0	0	0	0	0	0	42	0	988	7	439	6	2	25	6	無
55	白樺沼(さいたま市)	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	6	1	1	17	0	無	
56	見沼自然公園・池	0	0	0	10	0	41	0	32	1	60	1	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	165	7	93	6	1	77	1	有	
57	大宮公園・ポーランド池	0	0	0	0	0	0	4	28	0	16	0	0	0	11	0	0	1	0	0	0	0	0	60	5	30						

## 野鳥記録委員会の最新情報

日本野鳥の会埼玉 野鳥記録委員会

### ●マキノセンニュウ

英名 Lanceolated Grasshopper Warbler

学名 *Locustella lanceolata*

分類 スズメ目センニュウ科センニュウ属



小室雅洋さん（未入会の方）より、2019年11月2日午後4時ごろに、芝川第一調節池のさいたま市緑区側のほとりで撮影した小鳥の写真（上掲ほか3枚）が寄せられました。小室さんのお話によると「遊歩道の内側2～3メートルのススキの根元にセッカくらいの大きさの鳥が止まった。しばらく様子を見て

いたが藪の中に入ってしまった。鳴き声はしなかった」とのことです。

写真を検討した結果、①全体の形と大きさ、②短めの尾、③黒い縦斑のあるオリーブ褐色の上面、④淡褐色の羽縁のある、黒褐色の雨覆と風切、⑤白っぽい喉・胸・腹・下尾筒、⑥黒っぽく細長い嘴、⑦暗褐色の目、⑧淡褐色の眉斑、⑨肉色の足、等の所見から、当委員会はこの小鳥をマキノセンニュウと同定し、当会の県内野鳥リストに346番目の野鳥として追加することにしました。

本種は、我が国には主に北海道に夏鳥として渡来し、東南アジアで越冬します。このたび撮影されたのは渡り途中の通過個体と思われます。

当会の県内野鳥リストは1978年4月以降の記録を対象としているため、『埼玉県動物誌』に記載されている「1975年の浦和市（当時）での目撃記録」はリストの対象外でした。

本種は「日露渡り鳥条約」「日中渡り鳥協定」の指定種です。

### 「夏は来ぬ」

榎本秀和（鴻巣市）

卯の花の匂う垣根に

時鳥（ほととぎす）早も来鳴きて…

初夏を迎えるころになると、私はこの歌（作詞・佐佐木信綱）を思い出す。歌詞の情景を思い描くとともに、「庭先にホトトギス（ないしはカッコウ科の野鳥）が来るなんて」



ヒクイナ（編集部）

と、バードウォッチャーとしてはうらやましく思ったりもする。

この歌、歌詞の4番にも野鳥が出て来る。

棟（おうち）ちる川べの宿の

門（かど）遠く水鶏（くいな）声して…

ただし、クイナは冬鳥だから、ここに登場するクイナは、種としては夏鳥のヒクイナだろう。あの「キョッ、キョッ、キョキョキョキョ…」という特徴ある声はどこからか聞こえて来るひととき。私だったら、声を頼りに探しに出てしまいそうだ。歌詞は5番でもクイナに触れている。

さて、この歌で、私がひととき好きなのが3番の歌詞。

…窓近く蛍飛びかい

おこたり諫（いさ）むる夏は来ぬ

怠け者の私を、誰かが叱咤してくれているような気がするのである。



## 野鳥情報

**蓮田市西城沼公園周辺** ◇11月2日、ここでは珍しいトビが2羽、上空を旋回、北に流れた。11月8日、オオタカがカラスにモビングされながら東に飛んだ。11月11日、ツグミ3、鳴きながら上空通過。屋敷林に入った。今年は早い到来だ。今季初。11月16日、ジョウビタキ♂を確認、今季初（長嶋宏之）。

**越谷市 越谷レイクタウン** ◇11月2日、オオタカ成鳥1。11月16日、カンムリカイツブリ2。ピオトープでカワウの群れ内にコクマルガラス暗色型1（下写真）。カワウの群れ内で「キューキュー」よく鳴いていた。日の出直後だったので、ねぐらにしていた可能性も。カワウに混じっているとは思わず、とても驚いた（鈴木 功）。



**秩父市吉田太田部** ◇11月3日、ほとんど車の通らない林道で2回、路上のヤマドリ♂を車中から観察。長い尾を揺らしながらゆっくり歩く赤銅色の美しい姿、感激（鈴木紀雄）。

**蓮田市関戸 N36. 0151 E139. 6282** ◇11月4日、朝の散歩コースでベニマシコ。草むらの奥にいた（関口明宏）。

**久喜市菖蒲町小林** ◇11月5日午前6時45分、ミヤマガラス50±、コクマルガラス1、農道上の電線と刈り田を往き来する（小貫正徳・とみ子）。

**さいたま市西区 大宮花の丘農林公苑とその付近 (53397436)** ◇11月6日午前、カルガモ、キジバト、アオサギ、ツミ、オオタカ、

カワセミ2、モズ、カケス、オナガ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ツグミ、チョウゲンボウ2（下写真）、メジロ、ムクドリ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、シメ、ホオジロ、アオジなど（嶋田富夫）。



**さいたま市見沼区膝子** ◇11月6日、カラス80ほどの群れ中約50がミヤマガラス。残りはハシボソガラスとハシブトガラス。11月7日、畔に生える高さ1m程の草にホオアカの小群。11月15日、ミヤマガラス60の群れ中にコクマルガラス暗色型1。（鈴木紀雄）。

**加須市 浮野の里周辺 N36. 1347 E139. 6269**

◇11月7日、キジバト、アオサギ、ダイサギ、モズ、カケス、オナガ、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、シメ（長嶋宏之）。

**さいたま市緑区 芝川第一調節池** ◇11月10日午前10時頃、コミミズク1、調節池の方から飛んできて、旋回しながら高く上がる。芝川を越えて飛んで行く。どこかに降りたようだ。ハヤブサ若鳥1、調節池上空を飛び、鉄塔にとまる。ミサゴ1、2回ダイブし、2回目で魚を捕らえる。ジョウビタキ♂♀が飛び回る。アリスイの声がしていたが、姿は見つけられず。コガモ、カルガモ、オカヨシガモ、ヨシガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ、オオバン、アオサギ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリなど（藤原寛治）。

**さいたま市大宮区 大宮公園 (53397500)**

◇11月13日、匝種リュウキュウサンショウ

クイ2。他にエナガ、コゲラ、メジロ、シジウカラ、ヒヨドリ、ツグミ、ウグイス、キクイタダキなど。11月14日、アカハラ2。11月21日、ヒガラ、アオバト1。11月24日、ミコアイサ1。他にキンクロハジロ、オナガガモ、カイツブリ、オオバン、ツグミ、ヒヨドリ、ミヤマガラス、カワラヒワ、コゲラ、シジウカラ、メジロ、エナガ、カワセミ、ウグイスなど（森本國夫）。◇11月29日、亜種リュウキュウサンショウクイ1+。写真撮影した（下写真）。県内での観察例が増えているようだ（海老原美夫）。



**さいたま市緑区 見沼通船堀公園 (53396536)**

◇11月17日、コゲラ1（高原利實）。

**蓮田市駒崎 N36. 0124 E139. 6236**

◇11月18日、ミヤマガラス200±が田圃で採餌。他にキジ、タシギ、カウ、カシラダカ、オオジュリンなど（長嶋宏之）。

**所沢市荒幡 狭山丘陵いきものふれあいの里センター**

◇11月21日、同センター敷地内でソウシチョウ。姿を見たのは1羽。声の感じで2～3羽だと思った。センタースタッフによれば、敷地内で見るのは、数年前にエサ台に群れで来て以来とのこと（加藤和美）。

**渡良瀬遊水地**

◇11月20日午後2時30分～3時、強風の中、ハイイロチュウヒが次々飛来し、罅入り、計3羽。初めに飛来した2羽はしばらく一緒に飛んでいた（右上写真）。午後4時過ぎ、ハイイロチュウヒがもう1羽飛来するも罅入りせず、飛び去る。他にコチョウゲンボウ1、オオタカ1、チュウヒ複数（藤原寛治）。◇11月26日、ハイイロチュウヒ♂2、チュウヒ20+の罅



入り。ハイイロチュウヒ♀は確認できず。チュウヒはいわゆる大陸型と思われるものが5羽ほど。他にコチョウゲンボウ、ミサゴ、トビなど（鈴木紀雄）。

**蓮田市 西城沼公園周辺**

◇11月25日、柿の実をオナガ9が啄んでいた。12月1日、6～7羽のヒヨドリが入れ代り立ち代り、水浴びをしていた。他にジョウビタキ♂1、カケス2、コゲラ2、エナガ3、モズ高鳴きなど。12月8日、5～6羽のシジウカラが白くなったナンキンハゼの実を啄んでいた。他にアオジ1、シロハラ1、ツグミ1、ツミ1など（長嶋宏之）。

**蓮田市東 N35. 9793 E139. 6521**

◇11月26日、蓮田市商工会議所の裏の駐車場でイソヒヨドリ♂がいた。蓮田市内でイソヒヨドリを見たのは初めて（関口明宏）。

**草加市柿木町**

◇11月30日午後4時30分頃、コミミズク1、日没近くNTT電波塔周辺の田んぼを低空で飛び回る。柿木田んぼでは2000年以降に記録がなく久しぶりの観察だった。12月5日、柿木田んぼでオオタカ幼鳥1、電波塔下の田んぼでドバトを捕食していた。12月22日、そうか公園でオカヨシガモ♂4♀1、ルリビタキ♀型2（鈴木 功）。

**加須市柏戸**

◇11月30日午後、田圃でミヤマガラス約200（嶋田富夫）。

**表紙の写真**

**タカ目タカ科ハイタカ属ツミ**

3月15日午後4時半、庭の物置に激突した鳥2羽。ヒヨドリを捕まえたツミです。かなりの衝撃にビックリしたのか、しばし固まっていた。片桐徳子（さいたま市）



## 新型コロナウイルス感染防止のため

### 引き続き、5月中の全探鳥会も中止します

代表 山部直喜

5月こそはと楽しみにしていた探鳥会（予約を含む）でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため、引き続き全て中止とすることにいたしました。

決定までには、先月と同様、メール交換による役員会（4月2～3日）を開催いたしました。議案「5月の探鳥会（予約を含む）はすべて中止とする（普及部提案）」は承認され、探鳥会中止が決定いたしました。

このことは、直ちに当会のホームページでお知らせいたしました。右記に重複しない部分を再掲します。

これで、3・4・5月と3ヶ月間の探鳥会が中止となりましたが、状況が悪化していることは明かです。どうぞ、会員の皆様には、ご理解とご協力をお願いいたします。

<日本野鳥の会埼玉のホームページから>

～（略）～

すでに予約探鳥会に申し込まれた方々には、担当リーダーから別途ご連絡を差し上げます。

また、会員の皆さまには「しらこぼと」5月号で中止をお知らせいたします。

なお、「しらこぼと」5月号がお手元に届くまではしばらくありますので、鳥友にホームページを利用していない方がいましたら、電話等で連絡していただくとありがたく思います。

### 編集部に右下の本が送られてきました。 ご紹介いたします。

送り主は、当会会員の内田克二さん。以下の手紙が添えられていました。すぐにお礼の電話を差し上げ、さっそくインタビューをさせてもらいました。

2020, 03, 24

（略）

～、昨年のモンゴル探鳥ツアーの私の紀行文が、2020年4月1日に発売予定の『地球の歩き方2020-21 モンゴル』に掲載されました（p209-210）。当初の予定よりやや短くなりましたが紙面の都合であり、仕方のないことと思っております。

（略）

謝礼として何冊かが届きましたので、1冊送付させていただきます。

（略）

内田克二

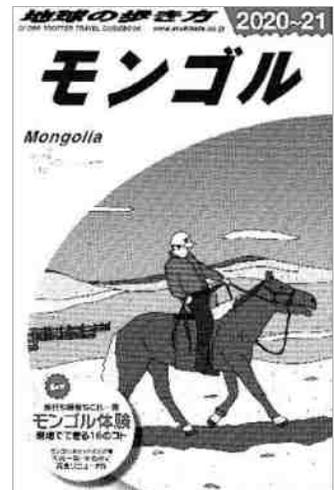
Q1: p26-27の鳥類の写真は内田さんが写されたのですか。

A1: 出版社が用意しました。私は、各鳥の説明文を書きました。

Q2: 内容がずいぶん新しいように思えますが。

A2: そうです。p8の通貨と為替レートでは、2020年1月9日現在で書かれています。p193の末尾には、2019年11月15日のモンゴル憲法改正法案決議まで書かれています。今から行く人には、大いに役に立つと思います。

※あとは、どうぞ直接手に取ってお読みください。





# 行事報告

12月12日(木) 加須市 加須はなさき公園

参加: 20(会員17)名 天気: 晴

ヒドリガモ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ ダイサギ オオバン トビ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス キクイタダキ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ (29種+カモ交雑種1) 青毛堀川堤で狙いのモズ第1回冬羽を始め、ホオジロ、カシラダカ、コガモ等を観察。園内ではヒドリガモ約70羽やメジロとシジュウカラの混群に続き、トビが次々に7羽頭上を通過。メジロの行方を追っていた女性がキクイタダキ3羽を発見。頭頂の朱が良く見えて大いに盛り上がった。(長嶋宏之)

12月13~14日(金~土) 長野県 清里高原

~ 山梨県 野辺山高原 Ladies'

参加: 18(会員18)名 天気: 晴

オシドリ オカヨシガモ ヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ オナガガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ カワアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ アオサギ オオバン トビ ハイタカ ノスリ コゲラ アカゲラ アオゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス コガラ ヤマガラ ヒガラ シジュウカラ ヒヨドリ エナガ メジロ キレンジャク ヒレンジャク ゴジュウカラ ミソサザイ ムクドリ カワガラス アカハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ カワラヒワ マヒワ シメ ホオジロ カシラダカ (53種) (番外: ガビチョウ) レディース探鳥会初のお泊り企画。赤い鳥や黄色い鳥、猛禽類との出会いを願って、清里の別荘地や広大な野辺山高原を駆け巡った。雪がまだ降っていなかったせいか、残念ながら鳥は少なめ。フクロウにも会えなかった。しかし想定外のレンジャク2種! 別荘地やペ

ンション周辺ではキツツキ類やカラ類が楽しませてくれた。今回の宿「八ヶ岳自然ヒュッテ」のオーナーは、周辺の観察地を毎月熱心に調査されている。その膨大な記録を見せていただいた。2日目の昼食は野鳥の会名誉会長・柳生博さんの「八ヶ岳倶楽部」で。レディース探鳥会にふさわしい、おしゃれなひと時を味わった。(小林みどり)

12月14日(土) さいたま市 岩槻文化公園

参加: 58(会員48)名 天気: 晴

ヒドリガモ カルガモ コガモ キジバト カワウ オオバン イカルチドリ タシギ イソシギ カワセミ コゲラ アカゲラ チョウゲンボウ モズ カケス ミヤマガラス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ アカハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (36種) 村国池ではカワセミが登場して盛り上がった。元荒川ではイカルチドリ3羽とタシギがじっとして動かず、ゆっくり観察できた。帰路のテストコースでエナガ、シジュウカラ、メジロ、コゲラの混群が数回、群れの個体数も多く、歩みを止めてその姿に釘付けとなる。最後に岸辺でヒドリガモの70羽ほどを比較的近距离で見られ、歓声が上がった。年末のひとつ、和気あいあいとのんびり鳥見を楽しむことができた。(長野誠治)

12月15日(日) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加: 51(会員44)名 天気: 晴

コジュケイ ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ オナガガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ カイツブリ キジバト カワウ ダイサギ カワセミ コゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス キクイタダキ ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ シロハラ ツグミ ルリビタキ ジョウビタキ キセキレイ ハクセキレイ ビンズイ シメ イカル ホオジロ (34種) (番外: ガビチョウ) 北風が非常に強く吹いた一日。鳥の声が消されてしまう悪条件の中、開始間もなく50羽ほどのイカルの群れが間近の木立に入り、皆でゆっくり観察することができた。そのあとはカラ類の混群の中にキクイタダキ。まだ葉がだいぶ残っていたが、ホ

パリングする姿が見えた。いつもの疎林地帯でピンズイとルリビタキの姿。山田大沼のカモは今年も少なかったが、8種を観察。カワウの営巢は今年も確認されず。(中村豊己)

12月15日(日) さいたま市 三室地区

参加: 44(会員34)名 天気: 晴

キジ マガモ カルガモ コガモ キジバト カワウ ゴイサギ アオサギ ダイサギ コサギ オオバン カワセミ コゲラ チョウゲンボウ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ メジロ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (31種+ハイタカ属不明種1) (番外: ドバト) 終始強風。チョウゲンボウも必死に飛んでいた。小鳥達もなかなか姿を見せない。そんな中でも、ホオジロやツグミはあちらこちらで餌を探していた。芝川ではダイサギの群れやカワセミを観察。皆様、本当にお疲れ様。(須崎 聡)

12月15日(日) 狭山市 入間川 Young

参加: 35(会員13)名 天気: 晴

カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ オオバン イカルチドリ トビ オオタカ カワセミ コゲラ チョウゲンボウ モズ ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ イソヒヨドリ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ シメ アオジ (35種) (番外: ドバト) 晴れではあるものの、やや風が強く寒い一日だった。そんな中でも、ヤングが大勢集い、探鳥を楽しんだ。入間川では、狙い通りイカルチドリやタヒバリを近くで観察することができた。チョウゲンボウやトビといった猛禽類も場を賑わせていた。(島崎 敦)

12月18日(水) さいたま市 彩湖

台風被害のため中止。(小林みどり)

12月21日(土) 幸手市 宇和田公園

参加: 45(会員40)名 天気: 曇

キジ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ イソシギ トビ

ノスリ カワセミ コゲラ アカゲラ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (34種) 令和元年最後の探鳥会は西行きのコースを選択し、まず公園内からツグミを観察。電線や高木に数十羽の群れでとまっている様子は、まさにムクドリ並み。公園内の低木ではシジュウカラとメジロ、コゲラの混群に加えアカゲラが姿を見せてくれた。中川沿いへ出るとベニマシコやカシラダカ、アオジに加え、やっとチョウゲンボウやノスリが。それでも目立ったのはヒヨドリの群れだった。シラコバトは来年にお預けとなった。(佐野和宏)

12月21日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 10名

宇野澤晃、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、佐久間博文、三ツ矢正安、吉原早苗、吉原俊雄

12月22日(日) 年末講演会

参加: 51名 場所: 埼玉会館



年末恒例の講演会を埼玉会館2階ラウンジで実施した。第1部「映像で振り返るこの1年」では3名の会員から寄せられた画像等を鑑賞した。第2部では、昨年6月に日本野鳥の会会長に就任された上田恵介氏(立教大学名誉教授)をお招きして、幼少の時から野鳥や野鳥の会とのかかわりあいや最近関心を持って取り組まれている研究テーマなどユーモアを交えてお話しいただいた。第3部の希望者による懇親会はワシントンホテル内の中華料理店で行い、講師の上田先生を含めて22名が出席した。(長野誠治)



●今月号は 10 ページです

3月4月に続いて5月の探鳥会もすべて中止になり、行事案内のページがなくなりました。いろいろ検討しましたが、やむなく今月号はいつもより2ページ少ない10ページになりました。申し訳ありません。

●「見沼たんぼ見どころガイド 2020」ができました



3月中に、さいたま市都市局都市計画部見沼田圃政策推進室から12,000部発行されました。

当会が写真と解説などを提供した「見沼たんぼの野鳥さがし(野鳥図鑑)」を最初

から2番目の記事とした同ガイドは、2015年版、2016年版に続くもので、B5版全62ページの内、4ページ目から17ページ目までの14ページを使って、見沼たんぼで会える野鳥たち46種、見沼たんぼの主な探鳥地、探鳥会へのお誘いなどを紹介しています。

市内各区役所の情報公開コーナーで、5月から無料配布される予定です。

写真と解説などは、海老原美夫副代表が担当し、2015年版と2016年版で紹介された46種の野鳥たちのうち、年月の経過とともに観察例が少なくなった5種を、比較的よく会える5種に入れ替えました。

●会員数は

4月1日現在1,535人です。

活動と予定

●3月の活動

3月9日(月)~12日(木) メール交換による役員会を開催して、4月の探鳥会中止を決議した。

3月9日(月)~14日(土)メールによる『しらこぼと』4月号校正作業実施(相原修一、海老原美夫、長嶋宏之、山部直喜)。

3月23日(月)『しらこぼと』4月号をpdf化し、本部総務室に送信、全国配布を依頼した(海老原美夫)。

同日『野鳥』誌と同封発送しない会員向け『しらこぼと』4月号を、郵便局から発送した(海老原美夫、山部直喜)。

●5月の予定

本稿執筆時の4月初めの段階では、通常本欄でお知らせしている編集部会、校正作業、袋詰め会、役員会などを、事務局に集まって実施する目途が立っていません。

万一それらが開催されることになった場合は、それぞれ個別にお知らせします。

編集後記

新型コロナウイルスの影響で編集会議が2ヶ月連続でテレワーク?になりました。今月もメールのやり取りだけです。30年以上も毎月事務局に集まって編集会議をしていたのがうそのようです。ただ、この状況を考えればいたしかたのないことです。今日は朝からマスクを買いに並びました。(fuji)

しらこぼと 2020年5月号(第434号) 定価200円(会員の購読料は会費に含まれます)  
 発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目2番8号 プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
 郵便振替 00190-3-121130 URL http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org  
 編集部への原稿 yamazekuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org  
 住所変更などの連絡は gyomu@wbsj.org または TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635  
 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル(公財)日本野鳥の会会員室へ  
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社